

No	事業名	担当部署	事業概要・目的	総事業費 単位:円	(内交付金充当額) 単位:円	事業開始日	事業完了日	事業効果の検証結果
1	外出促進事業	企画経営課	身近な場所で運動機会を提供し、健康を維持するため、市内約10ヶ所の公園等で、運動事業者等による「あおぞら体操教室」を実施	5,929,000	5,911,000	令和3年11月1日	令和4年3月31日	参加者へのアンケートの結果、すべての会場で次年度以降も継続参加の意向が99%となった。普段ほとんど運動しない市民や外出を控えている市民の参加も多かった。地域でのつながりを感じることができ、単に運動をするだけでなく、地域コミュニティの活性化にも寄与することができた。
2	介護人材雇用創出事業	高齢福祉課	介護人材の育成・創出及び雇用による生活支援を図るもの、求職者と介護サービス事業所とのマッチング支援や、各事業所が従業員に安定した就労環境を提供できるような、雇職対策研修を併せて実施	24,750,000	24,750,000	令和3年9月1日	令和4年3月31日	研修参加15名のうち13名が即戦力として就労するなど、コロナ禍による就職難に悩む方々のため、また、日野市における介護人材創出にとって大変効果的な事業であった。
3	教育支援体制整備事業費交付金	学校課	公立幼稚園における教育活動において、屋内外での感染症予防対策のため、幼稚園教諭及び園児等が利用する感染症防止に資する消耗品等を購入	1,174,861	600,000	令和3年6月17日	令和4年3月31日	感染症対策により、公立幼稚園における感染及びその拡大のリスクを低減し、幼稚園運営の継続を図ることができた。
4	ワクチン接種事業	財産管理課	新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施に利用し、接種会場との行き来など必要な利用車のリース期間を延長して使用	160,473	160,000	令和3年4月1日	令和4年3月31日	新型コロナウイルスワクチン接種事業の専用車両をリースすることで、接種会場や医療機関との行き来などが円滑にできた。
5	公共施設小規模修繕等業務委託	産業振興課	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内建設業小規模事業者の売り上げ確保、及び、小規模事業者を育成し、営業を振興する	65,999,349	35,000,000	令和3年4月1日	令和4年3月18日	受注事業者数:52社 受注件数:274件 売上総額:1億1,000万円、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内建設業小規模事業者の売り上げ確保、及び、小規模事業者を育成し、営業を振興することができた。
6	障害者仕事創出事業	障害福祉課	感染症拡大防止による福祉事業の縮小等に伴う障害者の工賃の向上を図る	3,486,200	3,480,000	令和3年4月1日	令和4年3月31日	本事業の対象事業所においては、令和2年度の平均工賃が約11,800円であったのに対し、令和3年度の平均工賃が約13,400円に上昇するなど、コロナ禍で障害者福祉事業事業の発注が減少する中で一定の事業効果があったと考えられる。
7	行政文書のデジタル化推進事業	総務課	マイクロフィルムをPDF化することで、電子化を推進し、将来的には行政情報の自宅・会社等からの閲覧ができる環境の構築準備	33,550,000	33,147,400	令和3年10月20日	令和4年3月31日	劣化が進んでいたマイクロフィルムデータの保存ができたうえ、フィルムを保存している場所でも1枚1枚探していたものがパソコン上で検索できるようになり、職員間の業務が滞り、時間の短縮に繋がった。
8	地区センターの利用制限通知発送事業	地域協働課	感染拡大防止のための施設を利用制限する場合に、関係者に通知してお知らせする	101,470	100,000	令和3年4月1日	令和4年2月24日	緊急事態宣言等の発出により、地区センターの利用制限を実施した。利用制限に伴う、施設管理者及び自治会長等へに通知を行い、地区センターの利用者に対し感染防止への理解と周知、また協力を得ることができた。
9	教育支援体制整備事業費交付金	保育課	幼稚園において、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと実施しつつ、「新たな日常」において幼児を健やかに育むことの実現の環境を整備を推進	4,382,000	2,190,000	令和4年2月22日	令和4年3月31日	感染症対策として私立幼稚園10園へ保健衛生用品や備品の購入費用を補助することで、子どもを安心して育てることができる環境の整備に繋がった。
10	保健相談事業	健康課	対面で行ってきた保健指導や個別相談、健康教育などの母子保健事業を、オンラインで実施し、新型コロナウイルス感染症の流行下において妊産婦への支援を継続	30,008	30,000	令和3年4月27日	令和4年3月31日	オンラインでの講座開催・個別支援により、妊産婦の不安を解消することができた。(令和3年度実施)マイパラス(保健、医師講話、栄養)参加者の19回、316人
11	親の子育て力向上支援事業	子ども家庭支援センター	妊産婦サポート事業(産前及び産後の市民を訪問し、接し、あむつ的交流及び子育てのサポート、家事支援を行う)の利用促進のため、利用6時間分を無料とするもの	549,452	540,000	令和3年4月1日	令和4年3月31日	最初の6時間無料分については、101世帯、合計548時間の利用があった。結果として、無料分を含む妊産婦サポート事業の利用率については、105世帯、合計1,652時間分の利用があり、令和2年度の51世帯、合計695時間を大幅に上回り、新型コロナウイルス感染症の影響により孤立している妊産婦の家事支援や育児の介助を実施し、困難な状況を解消することができた。
12	百草・倉沢エコミュージアム事業	ふるさと文化財課	文化財の再発見とその保存・活用・普及啓発活動を市民と共に実施することで、ワクチン接種後のマイクロツーリズムの行先としての地域の魅力を高める	2,736,070	1,066,000	令和3年9月28日	令和4年3月31日	市民の安全な外出の促進と、文化財の普及啓発を目的に、以下の事業を実施した。 ①デジタルスタンプラリー:参加916人、地域文化財の案内冊子15,000部配布 ②文化財案内看板の設置:11カ所 ③考古体験!歴史と講話会:登壇278人、73人参加 ④出張用小型・軽便な展示ケース製作 以上の事業により、市民や事業者との協働による百草地域の文化財の保存と活用、および地域活性化をはかる基盤を整えることができた。
13	デジタルミュージアム構築事業	ふるさと文化財課	所蔵資料の収蔵品を電子化し、公開管理システムに搭載しインターネット上で公開することで、誰もがいつでも、どこでも文化財のデータ(写真等)を閲覧できる環境を整備	2,134,660	2,110,000	令和3年11月24日	令和4年3月31日	所蔵資料のデータ化とデジタルアーカイブのシステム構築に取り組み、非展示資料のWeb上の公開や、システムと連動した展示室内での資料検索などを可能とする基盤を整備できた。市民がそれぞれに関心に応じて日野市の文化財に触れることができる環境の実現を目指し、次年度以降も資料のデータ化を継続している。
14	フレイル予防周知啓発等事業経費	高齢福祉課	フレイルリスクの高い方に対し、暮らしに役立つ情報を掲載したリーフレットを送ることにより、必要なサービスにつなぐ、身体・認知機能の低下を防ぐ	942,208	910,000	令和3年4月1日	令和3年12月23日	フレイル予防の必要性や活用可能なサービスの周知啓発につながった。
15	緊急対応型雇用創出・研修事業	子ども家庭支援センター	健診対象の乳幼児やその保護者が安心して健診を受ける環境を整え、成長確認や虐待予防に資するほか、コロナの影響で収入減や離職、内定を取り消された方々の支援	777,600	770,000	令和3年4月6日	令和4年3月31日	乳幼児健診において新型コロナウイルス感染症の感染予防を目的に手指消毒等の実施することで乳幼児やその保護者の状況確認ができた。また、その人員としての雇用に繋がった。
16	遠隔・オンライン授業等の環境整備、GIGAスクール構想への支援事業	ICT活用教育推進室	コロナ禍の複数校での持ち帰りを踏まえ、今後、本格的にオンライン授業の導入や持ち帰りのため、A27タブレットを購入し児童を配布	15,642,000	15,600,000	令和3年12月27日	令和4年3月30日	GIGAスクールの構想で導入した児童・生徒用1人1台端末の持ち帰り型A27タブレットを購入したことで、家庭学習でも可能になるようになった。
17	独居・老老世帯高齢者支援事業	高齢福祉課	支援者のない独居や老老世帯の高齢者の中には、新型コロナウイルス感染症の罹りやすさ、孤立による現状、認知の低下が起きていることが予測されるため、現状調査を実施	1,958,880	1,200,000	令和3年12月10日	令和4年3月31日	調査結果から、リスクが高い高齢者については、地域包括支援センターとの相談につなげることができた。調査結果の分析の結果、家に閉じこもりがちな高齢者の存在が明らかとなり、それら高齢者に対するイベント等の実施につながった。
18	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策支援事業	高齢福祉課	生活・保健センターを福祉避難所として運営する際の換気機能、加湿機能を強化	353,100	350,000	令和3年12月27日	令和4年2月2日	有事には災害や感染症の種類問わず避難所の中心となる生活・保健センターにおいて、公設避難所としての意義を一層高めるため加湿剤・備品の充実化事業であった。
19	多摩平の森産業連携センターテレワーク環境整備事業	産業振興課	多摩平の森産業連携センターPlanTでのテレワークやイベントのオンライン配信環境の需要に対応するため、ネットワーク及び配信事業の利便性を向上させる	5,660,512	5,650,000	令和4年2月3日	令和4年3月31日	テレワークやイベントのオンライン配信環境の需要が高まっている中、密を避けた事業者の業務環境の整備やイベントの開催ができたほか、創業支援や企業とのネットワーク形成を目的とした当該施設において、社会環境の変化に対応した環境を整備したことで、経営活動の効率化に資することができた。
20	子育てひろば等での感染防止対策	子ども家庭支援センター	乳幼児親子の居場所及び相談拠点である子育てひろばに必要な感染防止対策を行うことで安心して集まれる環境を整備	265,987	188,000	令和3年7月9日	令和4年3月31日	感染症対策への意識が高まっているなかで、親子が集まる施設における感染対策として、効果的な事業であった。
21	乳幼児健診会場の感染防止対策	子ども家庭支援センター	乳幼児健康診査にて、加湿機能付きの空気清浄機を購入し、各会場に設置することで親子にとって安全安心な環境を整備	455,400	450,000	令和4年1月20日	令和4年2月15日	乳幼児健康診査において、加湿及び清浄を徹底することで、会場内でのクラスターを防ぐことができた。
22	学童クラブ事業経費・施設運営経費	子育て課	学童クラブ内消毒液等を購入・設置し、継続的な感染症拡大防止を図る	1,870,814	1,800,000	令和4年1月21日	令和4年2月25日	学童クラブにおける児童及び職員感染症拡大防止が図られた。
23	児童館事業経費・施設運営経費	子育て課	10児童館に各1台、殺菌機を設置し、継続的な感染症拡大防止を図る	2,750,000	2,750,000	令和3年12月27日	令和4年2月24日	児童館における児童及び職員の感染拡大防止が図られた。
24	市立病院支援事業	市立病院	コロナ患者の受け入れに対応するため、機器の充実や病棟の清掃員や医療事務等を配置するもの	27,312,894	14,251,000	令和3年4月1日	令和4年3月31日	感染症の流行によって急増する感染者の受け入れ体制を強化することで、発熱外来の維持、感染者受入等を継続的に実施することができた。
25	市立病院支援事業	市立病院	コロナ患者の受け入れに対応するため、機器の充実や衛生用品等を購入	6,069,160	5,763,000	令和3年4月1日	令和4年3月31日	感染症の流行によって急増する感染者の受け入れ体制を強化することで、発熱外来の維持、感染者受入等を継続的に実施することができた。
26	新型コロナウイルス感染症課題解決型ソーシャルビジネス共創事業	企画経営課	地域の産業の発展を支援する生活課題産業化など、これまでが取り組んできた手法をコロナ禍における地域課題解決に活かすことを目的に、民間事業者が主体的にかつ継続的に取り組む事業スキームに対して補助を行った 採択事業:街の花プロジェクト(京王電鉄株式会社)、ポストコロナ時代における骨格転換型予防をはじめとする身の健康促進事業(GEヘルスケアジャパン株式会社)	9,997,500	9,990,000	令和3年12月8日	令和4年1月14日	街の花プロジェクトでは89名の地域住民が参加し、外出することでポイントが貯まり、そのポイントで生活の潤い(花)へ使えられるスペースが有効なことが確認された。 健康促進事業ではコロナ禍での健康維持と骨格転換型予防を目的に、地域イベントなどを通じて骨密度測定を地域住民に促し、対象者の約3割にあたる9名が骨密度検査を行った。
27	一般運営経費(消毒液等購入)	図書館	図書館(中央図書館、分館6館、移動図書館)に手指消毒用アルコールを購入	277,200	200,000	令和4年3月17日	令和4年3月31日	来館者へ手指消毒用アルコールを提供したことにより、感染拡大防止に役立った。
28	Wi-Fi環境整備事業(南平体育館)	文化スポーツ課	特に災害時、市役所の重要先読点(物資集積拠点の予定となる南平体育館)について、Wi-Fi環境の整備を行うことで、リモートでの連絡円滑化、密の解消を図る	5,280,000	5,280,000	令和4年1月27日	令和4年3月31日	令和4年4月のリニューアルオープンに合わせ、緊急時の体制確保の一環として、リモートのみならず災害時でも活用できる環境を構築することができた。
29	感染症対策事業	文化スポーツ課	施設へ感染症に資する消耗品・備品の購入を行い、感染リスクの高い運動・スポーツ及び合宿等の利用者による施設内のクラスターを防止	2,632,179	1,800,000	令和3年10月18日	令和4年2月28日	令和2年度に引き続き施設内のアルコール設置により予防意識の維持に努めたほか、パーテーション設置をおこなったことで、利用者同士の接触機会を一定程度減少させることができた。
30	市立保育園経費	保育課	保育園の感染予防対策のための消耗品を購入し、感染対策に充実させ、保育士の業務負担を軽減	1,705,931	300,000	令和3年12月4日	令和4年3月31日	感染症対策として公立保育園の保健衛生用品や備品の購入費用に充てることで、子どもを安心して育てることができる環境の整備につながることができた。
31	遠隔・オンライン授業等の環境整備、GIGAスクール構想への支援事業	ICT活用教育推進室	ICT機器を活用し、学校へのGIGAスクール構築事業を推進するとともに、オンラインを活用した授業等への環境整備を行うし、受け止められない児童を支援	43,559,699	35,612,000	令和3年12月28日	令和4年3月31日	市内小中学校に、独立したネットワークを構築(ローカルブレイクアウト)、GIGAスクール構想で導入した児童・生徒用1人1台端末未だの普及が、オンライン授業の環境を整備した。
32	市立保育園施設運営経費(ICT推進)	保育課	保育園の新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、ICT機器の購入	3,465,000	1,340,000	令和4年1月24日	令和4年3月31日	公立保育園4園において無観環境の整備を行うことで、分散して執務を行うなど、感染及び拡大のリスクを軽減し、保育運営の継続を図ることができた。
33	新型コロナウイルス健康相談窓口業務	健康課	新型コロナウイルスの感染や濃厚接触者の疑いを感じる方から保健師等が電話や窓口で相談を受けることで市民のコロナに対する不安を取り除く	5,668,977	4,955,000	令和4年1月28日	令和4年3月31日	保健師等が、新型コロナウイルスの感染や濃厚接触者の疑いを感じる方の相談を受けることで市民のコロナに対する不安を取り除くことが出来た。 相談件数 3,810件
34	学校保健特別対策事業費補助金	学校課	学校における感染症対策の支援として、消毒液等の保健衛生用品の追加的な購入経費を支援、学校教育活動の円滑な運営を図る	11,475,191	5,738,191	令和4年5月10日	令和5年3月27日	感染症対策により、学校における感染及びその拡大のリスクを低減し、学校運営の継続を図ることができた。
35	多摩平の森産業連携センターテレワーク環境整備事業	産業振興課	多摩平の森産業連携センターPlanTでのテレワークやイベントのオンライン配信環境の需要に対応するため、ネットワーク及び配信事業の利便性を向上させる	994,400	994,400	令和4年10月5日	令和5年2月10日	テレワークやイベントのオンライン配信環境の需要が高まっている中、密を避けた事業者の業務環境の整備やイベントの開催ができたほか、創業支援や企業とのネットワーク形成を目的とした当該施設において、社会環境の変化に対応した環境を整備したことで、経営活動の効率化に資することができた。